

環境省施策体系

施策体系		
施策(評価対象単位)	各施策に含まれる目標の名称	
環境省の使命	1.地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>1-1 地球温暖化対策の計画的な推進による低炭素社会づくり</li> <li>1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制</li> <li>1-3 森林吸収源による温室効果ガス吸収量の確保</li> <li>1-4 京都メカニズム等を活用した海外における地球温暖化対策の推進</li> </ul>
	2.地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>2-1 オゾン層の保護・回復</li> <li>2-2 地球環境保全に関する国際連携・協力</li> <li>2-3 地球環境保全に関する調査研究</li> </ul>
	3.大気・水・土壌環境等の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>3-1 大気環境の保全(酸性雨・黄砂対策を含む)</li> <li>3-2 大気生活環境の保全</li> <li>3-3 水環境の保全(海洋環境の保全を含む)</li> <li>3-4 土壌環境の保全</li> <li>3-5 ダイオキシン類・農薬対策</li> </ul>
	4.廃棄物・リサイクル対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>4-1 国内及び国際的な循環型社会の構築</li> <li>4-2 循環資源の適正な3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進</li> <li>4-3 一般廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)</li> <li>4-4 産業廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)</li> <li>4-5 廃棄物の不法投棄の防止等</li> <li>4-6 浄化槽の整備によるし尿及び雑排水の適正な処理</li> </ul>
	5.生物多様性の保全と自然との共生の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組</li> <li>5-2 自然環境の保全・再生</li> <li>5-3 野生生物の保護管理</li> <li>5-4 動物の愛護及び管理</li> <li>5-5 自然とのふれあいの推進</li> </ul>
	6.化学物質対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>6-1 環境リスクの評価</li> <li>6-2 環境リスクの管理</li> <li>6-3 リスクコミュニケーションの推進</li> <li>6-4 国際協調による取組</li> <li>6-5 国内における毒ガス弾等対策</li> </ul>
	7.環境保健対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>7-1 公害健康被害対策(補償・予防)</li> <li>7-2 水俣病対策</li> <li>7-3 石綿健康被害救済対策</li> <li>7-4 環境保健に関する調査研究</li> </ul>
	8.環境・経済・社会の統合的向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>8-1 経済のグリーン化の推進</li> <li>8-2 環境に配慮した地域づくりの推進</li> <li>8-3 環境パートナーシップの形成</li> <li>8-4 環境教育・環境学習の推進</li> </ul>
	9.環境政策の基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>9-1 環境基本計画の効果的実施</li> <li>9-2 環境アセスメント制度の適切な運用と改善</li> <li>9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発</li> <li>9-4 環境情報の整備と提供・広報の充実</li> </ul>

(40目標)